

# エルダー

特集

高年齢者雇用安定法改正から  
1年をふり返る

2022

4



新連載

リーダーズ  
トーク

70歳までの再雇用制度を整備し  
年齢を問わない実力主義人事を徹底  
T-I-S株式会社 執行役員 人事本部本部長 高柳 京子

病気とともに働く

第1回 二九精密機械工業株式会社

新連載

# 病気とともに働く

第一回

二九精密機械工業  
株式会社

会社は「人」次第でよくも悪くもなる。  
人を大切にする職場であれば会社も社員も長生きできる

加齢により疾病リスクが高まる一方、近年の診断技術や治療方法の進歩により、かつては「不治の病」とされていた疾病が「長くつき合う病気」に変化しつつあり、治療をしながら働ける環境の整備も進んでいます。本連載では、治療と仕事の両立を支える企業の両立支援の取組みと支援を受けた本人の経験談を紹介します。

京都市南区に本社を構える二九精密機械工業株式会社は、1917（大正6）年の創業以来100年以上の歴史を持つ。長年にわたってつちかかってきた機械加工技術で実績があり、最近では特殊合金、チタンなどによる超精密・高精度加工技術で高い評価を得ている。

そして、もう一つ同社が注目を集めているのは、「取引先、従業員、協力会社の3者にとつての『安心』をものづくりの根本に据える」という二九良三代表取締役社長の信念が全社に浸透し、その思いを形にした制度が整備されていることだ。

そこで「病気や事故でも、治りさえすればまた就業できるのだから、辞める必要はない」といい切る二九良三社長と、65歳を超えても会社の第一線で指揮を執る大川智司専務執行役員、実際に会社の健康診断がきっかけでがんが見つかったという廣瀬正典執行役員の3人に、それぞれの立場からお話をうかがった。

## 仕事をする人の代わりはいるが 家族の代わりはいない

二九社長は、2009（平成21）年に就任してからずっと「仕事より家庭が一番」と謳い、従業員とその家族にとって働きやすい環境をつくってきた。

そんな同社では、2015年から健康診断の受診率を100%に高め、所見が出た場合は二次健診で診断書が出るまで追いかけるように徹底して指導を続けている。ともすれば仕事への影響を考えて病気を隠してしまうケースもあるが、そうして手遅れにならないためだ。所見が出ても二次健診に行かない従業員のデータが会社に届き、「いつ検査に行くのですか」と本人に勧奨できる仕組みになっている。実際にこのうながしで二次健診を受け、病気の早期発見につながった好例が廣瀬さんだ。

## 一人で仕事を抱えるのではなく 同じスキルを持った人を複数育成する

2015年にがんが見つかり、入院治療を経て職場に復帰した廣瀬さんはこう語る。

「がんという結果が出たときは、正直『もう終わった』と思いました。両親も兄も仕事が忙しくて健診に行きそびれたまま、がんで亡くなっていきますので、なおさら不安でした。しかし、そんな廣瀬さんを「いまは治療に専念なさい」と勇気づけたのが二九社長だったという。「必ず職場に戻るよ」という言葉を聞いて廣瀬さんは治療からの復帰に希望を見出した。

それでも廣瀬さんは入院してすぐ、大きな誤算に気づく。当時生産管理部門の責任者を務め



(写真左から) 大川智司専務執行役員、二九良三代表取締役社長、廣瀬正典執行役員

ていた廣瀬さんが、ベッドから現場を管理しようとしてもまったくできなかったことだ。だれかに任せるといことをせず、工場の全工程を一人で組んでいたが、入院した途端にそれが止まり、「次は何をすればよいですか?」というメールが大量に届く事態になった。これをベッドの上から次々に処理し続けたという。

「療養が2週間だけでしたから、なんとかなりましたが、これが1カ月間続いていたらどうなっていたかと、怖くなりました」と廣瀬さん。仕事に復帰してからはこの経験を活かし、情報共有のために同じ仕事を2人以上ができる環境

を整え、同じスキルを持つ人を複数育成できるように、配置転換で仕事を覚えるという流れをつくった。これは現在の同社における人材育成の基本姿勢でもある。

廣瀬さんは現在、普段の生活には支障がないところまで回復している。「がんとかわかったときに投げやりになっていたら、ここまでできないと思います」と、治療を後押ししてくれた会社深く感謝している。

### 生き活きと働いている中高年社員は会社の強力な広告塔

「廣瀬さんは病気をしてから、少し調子が悪そうな部下に、すぐに気がついて声をかけるよい上司になりました」と語るのは大川さんだ。

「男性も女性も育児や介護という人生のステージを乗り越えきれずに、退職を余儀なくされる場合があります。しかしそのとき、経営者から、『家庭が一番大切』といわれたら、『やっぱりこの会社で働き続けたい!』とモチベーションが上がります」と大川さん。ところが制度があっても、活用できないケースもあるとも指摘する。「利用してあたり前という会社と、使いづらい雰囲気のある会社では大きく違います。習熟したスキルを持つ人ができるだけ働き続けられるように、という姿勢や企業文化は、特に

中小企業には必要だと思えます」と強調する。

病気とともに働ける会社は、高齢になっても働ける会社でもある。同社は定年後再雇用で一年ごとの更新だが、継続雇用の上限年齢はなく、定年時の退職者はほとんどいない。

「現在も常勤で75歳の方、顧問として78歳の方が活躍してくれています」という二九社長は、病気があっても、高齢者でも、働きがいのある仕事を創出することが社会貢献につながると考えている。「生き活きと働いている中高年従業員が、何よりも強力な広告塔になってくれます」と、二九社長は会心の笑顔だ。

### 二九精密機械工業株式会社の両立支援策

#### 入院手術見舞金制度

会社の慶弔見舞金規定により、入院や手術の際、入院給付金を1日5千円、入院中に手術を受けたときには手術給付金として10万円の給付金を会社から支給する

#### 現場へのヒアリングなどによる業務分担見直し

残された部下などへの細やかな業務配分や情報共有によって、特定の従業員だけに過大な負荷がかかり、業務が滞ってしまうことを防ぐ

#### 復帰支援

体調が回復するまでの短時間勤務や、通院や治療のために休みを取りやすい雰囲気づくりを全社的にしている

#### メモリアル休日

年間5日間、法定の有給休暇にプラスして取得できる。誕生日や結婚記念日など個人のメモリアルデーなどにあわせて、会社に申告すれば休める制度